

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	西村 哲範	法人・事業所の特徴	「一人ひとりに寄り添う、地域に寄り添う」を理念に、ご利用者様には住み慣れた地域で過ごして頂けるよう、通い、泊り、訪問を柔軟に組み合わせたサービスを提供しています。 尊厳を護り、自立を支援し、在宅支援を大切に法人理念「その人らしく 気持ちよく生きる」を実現出来るよう支援させていただきます。
事業所名	小規模多機能ホームさろお	管理者	長谷川徹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	1人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし	なし	なし	なし
B. 事業所のしつらえ・環境	なし	なし	なし	なし
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ情勢で検討の上、夏祭り等開催し地域の方々をお招きできる場合は案内を発信する。	2023年10月にさろおマルシェを開催し、地域住民の方々50～60名ご参加して頂く事が出来介護相談もありました。	地域住民は福祉介護センターの事は承知している。	2024年度もさろおマルシェ開催予定。より多くの地域の方々に足を運んで頂き知って頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なし	なし	なし	なし
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議に職員も順番に参加してもらえよう勤務調整をしていく	デイサービス職員には参加頂いているが、同じ小多機職員は参加出来ていない。	なし	運営推進会議で頂いた意見があれば事業所職員にも会議で報告し共有していく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練あれば参加させて頂く。	9月の消防訓練では自治会長様や民生委員の方にご参加頂き実施する事が出来た。	公民館を避難所にした避難訓練は開催されたとの事。ゲリラ豪雨での注意や昔、天川が氾濫した情報を頂く。	年2回の防災訓練の実施。(地震・豪雨等も想定した避難訓練の実施)